

おれんじ通信

47

知って支える認知症

認知症と新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の流行が続いています。認知症の本人や家族、周囲の方が感染したときに備えて、次のような準備をしておきましょう。

【本人・家族が感染した場合に備えて】

▷保険証やお薬手帳など、入院した場合に必要なものを1か所にまとめる。または、どこにあるかを把握する

▷家族に感染の疑いがある、また

は感染した場合は、誰がどのサービスを利用して、本人の生活を守ることができるかをあらかじめ検討する

【介護サービスが縮小した場合】

現在利用しているサービスの優先順位を考え、中断しないサービスと、感染状況によっては中断してもよいサービスに分けておきましょう。また、家族が介護を担う場合に備え、次のことを確認しておいてください。

▷病院の受診日や服薬内容など、本人の生活リズムを書き出す

▷おむつなどの必要な介護用具をどこで買って、家のどこに置いて、

どのように使っているかを確認する

▷介護者が複数いる場合は、誰が何をどのような順番で担うことができるかを相談する

いざ感染した場合を想定し、本人や大切な方、関わる医療介護職の方とあらかじめ話しあい、思いや価値観を共有しておくことが大切です。このことは、新型コロナウイルス感染症の流行時だけでなく、災害時にも役立ちます。

(参考：広島大学共生社会医学講座「認知症をお持ちの方とご家族の方へ」パンフレットより)

◇ ◇

おれんじ通信への意見をお寄せください。

☎地域包括ケア推進課 06(4309)3013、FAX06(4309)3814